

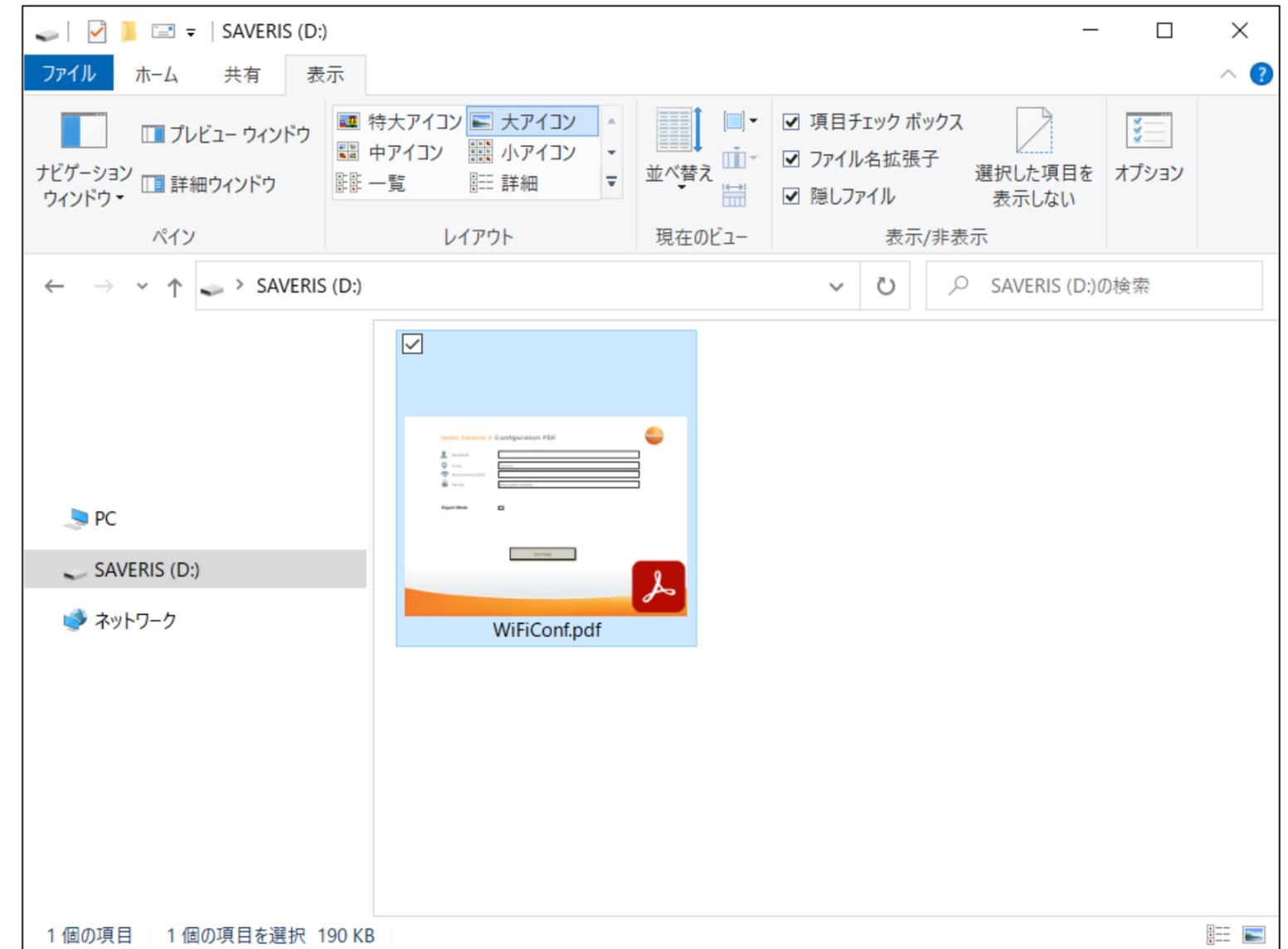
1. まずはじめに

ロガー本体とPC(windows)を接続します。

2. 接続後、ドライバーのインストールが自動的に始まり、セキュリティに問題がなければ正常に終了します。「コンピュータ」にSaveris(もしくはtesto 160)という名前でストレージとして認識されます。

該当箇所をクリックするとストレージ内に、「WiFiConf」という名のPDFファイルが存在します。

これをAdobePDFReaderで開きます(無料)。



testo Saveris 2 Configuration PDF

Account ID

Profile: 1(default)

Network Name (SSID)

Security: None (public network), WEP/WPA or WPA2, Enterprise Security

Expert Mode

Save configuration

各項目に必要な情報を入力していきます。

3ページで説明

そのまま

お客様のルーターのSSID

Enterprise Securityを選択
4項で説明

アカウントID入力欄について



Account ID

1. TestoクラウドURLにアクセスします

<https://asia.saveris2.net/users/login>

2. ログイン後

設定→アカウントIDの順にクリック

3. 表示されたアカウントを設定PDFファイルの「アカウントID」の欄に入力してください(ハイフンは必要です。)



Enterprise Securityを選択すると が出現します。ここに必要な情報を入力してください。

testo Saveris 2 Configuration PDF

- Account ID
- Profile: 1(default)
- Network Name (SSID)
- Security: Enterprise Security
- Password
- Enterprise Security: EAP-TLS
- User Name

Please copy all relevant certificates (ca.pem, ..., private.key) to the mass storage of your testo Saveris 2 data logger before disconnecting it from USB!

Expert Mode

ユーザー名(ID)を入力

Save configuration

ルータのSSID

ルータのパスワード

プルダウンから選択

※最も多く使われる認証方式は下記2つの方式です。

EAP-PEAP0-MSCHAPv2

(IDとパスワードで認証。クライアント証明書は不要)

EAP-TLS (クライアント証明書のみ必要)

※クライアント証明書にユーザー情報などが含まれる。

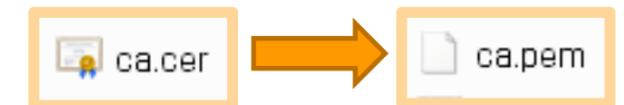
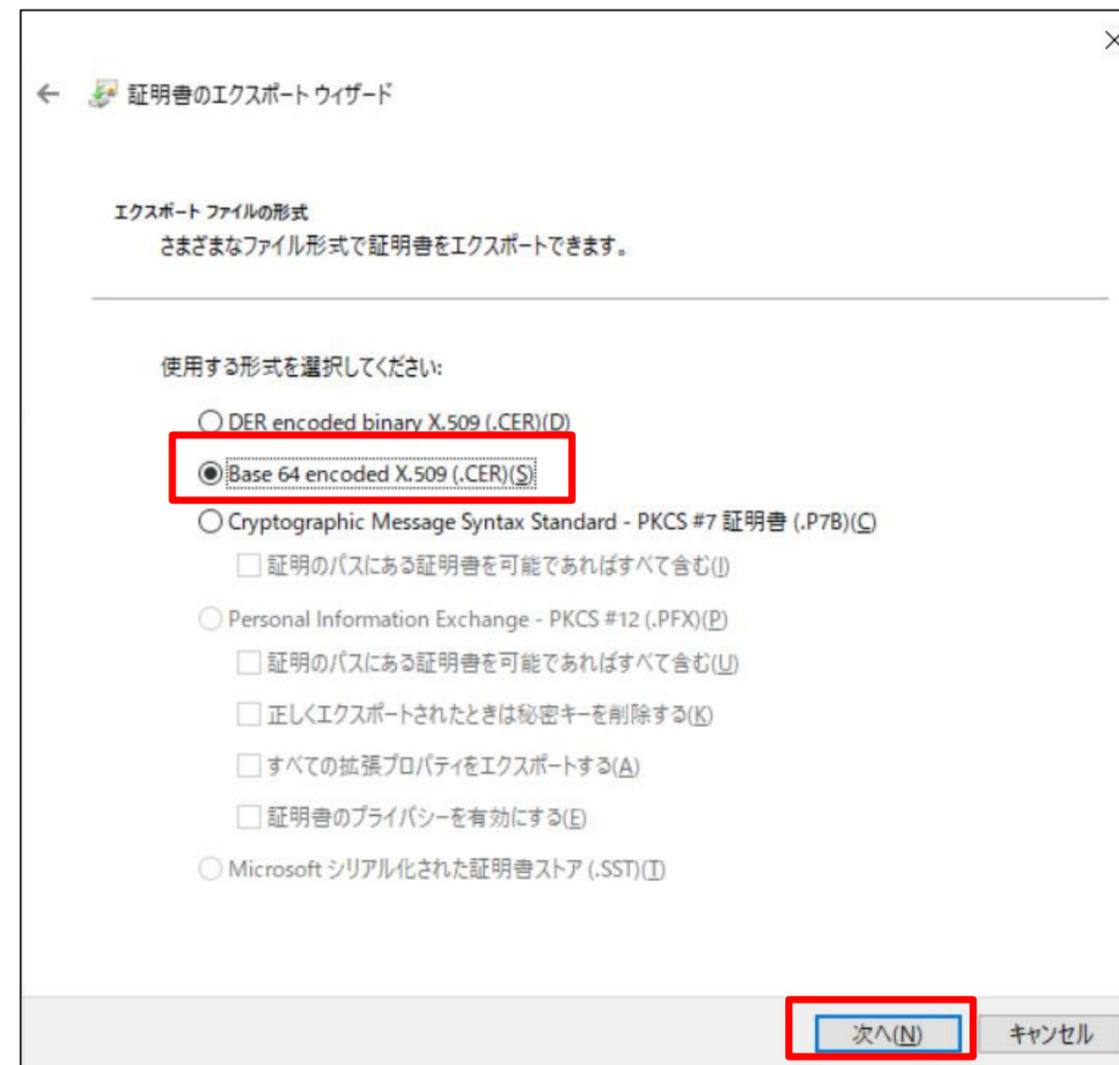
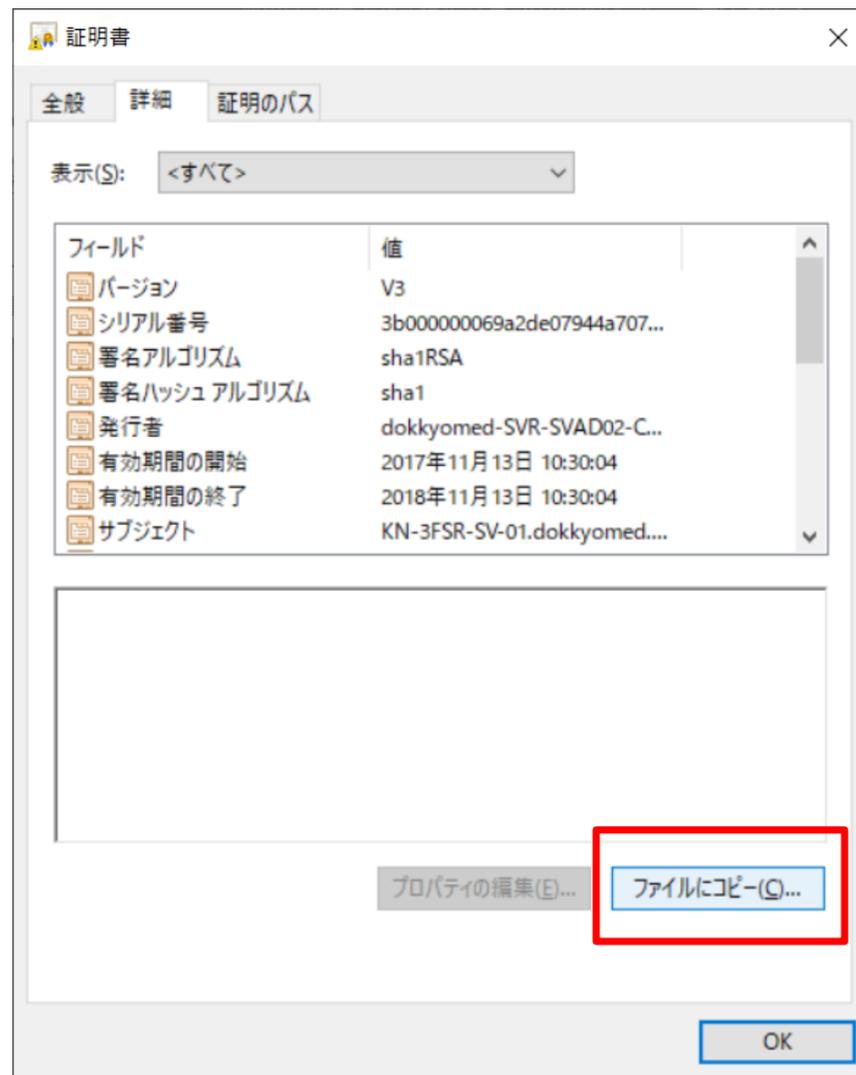
WPA2 エンタープライズの認証方式(IEEE.802.1x)
EAP-TLS
EAP-TTLS-TLS
EAP-TTLS-MSCHAPv2
EAP-TTLS-PSK
EAP-PEAP0-TLS
EAP-PEAP0-MSCHAPv2
EAP-PEAP0-PSK
EAP-PEAP1-TLS
EAP-PEAP1-MSCHAPv2
EAP-PEAP1-PSK

Wi-Fiアクセスポイントの接続時に証明書が必要な場合(不要な場合は実施不要)

データロガーが証明書を使ってアクセスポイントに接続するためには、CA証明書/クライアント証明書をBASE64エンコードで変換する必要があります。Wi-Fi接続設定時には下記手順でデータロガーのストレージ内に設定ファイルと一緒に保存してください。

1.証明書ファイルを開くと次の画面が現れます(windows10)
詳細タブをクリックし”ファイルにコピー”を選択します。

使用する形式の中から「Base 64 encoded X.509」を選択し次へを選択。次に名前を指定できるので「ca」と指定。この手順を終えると拡張子が「.cer」というファイルが生成されますが、拡張子を手動で「.pem」に変更してください。



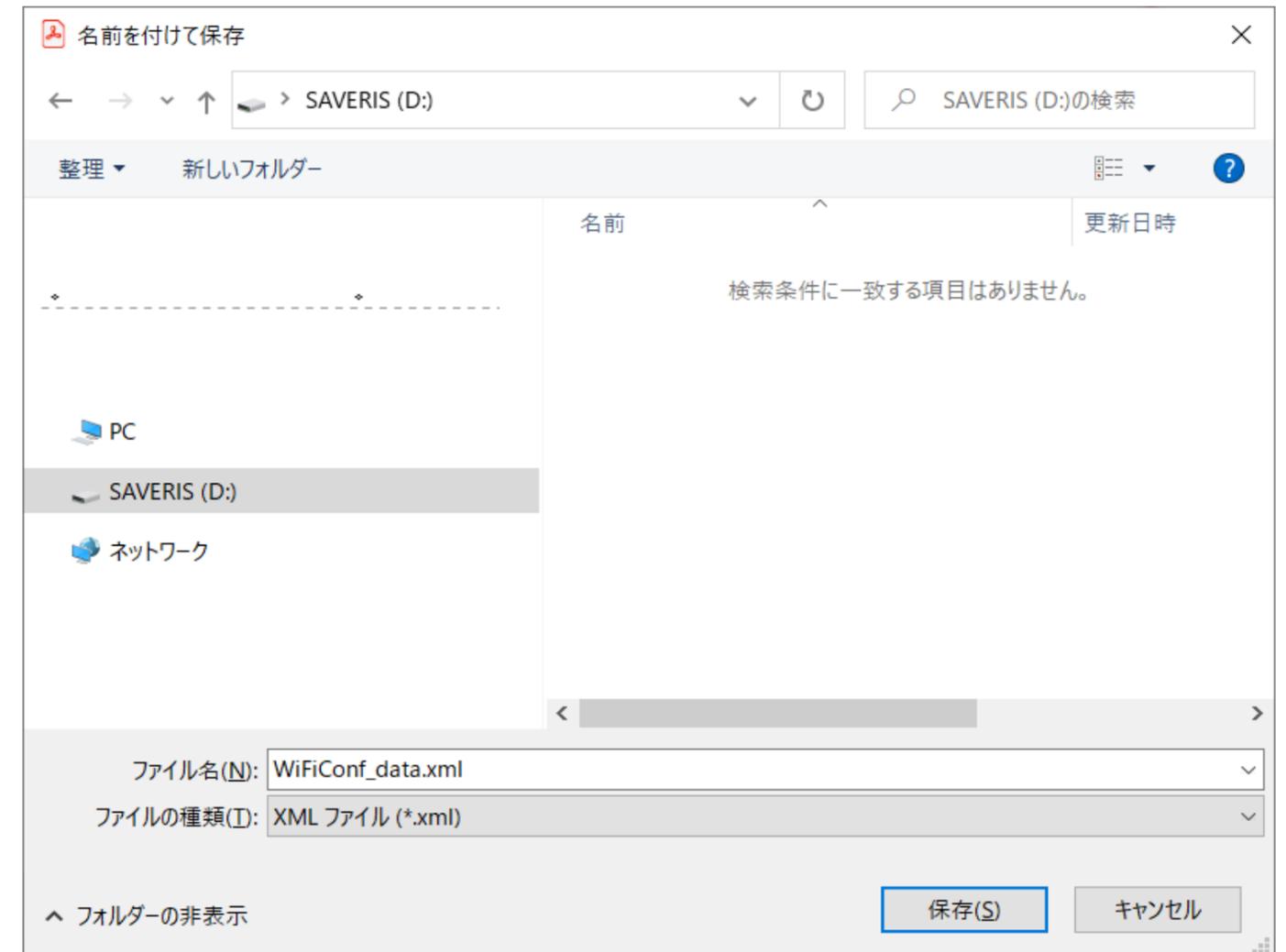
設定情報に問題がなければ
をクリックしてください。

Save configuration

右図の通りポップアップウィンドウが表示
されます。

Saveris(またはtesto 160)のストレージ直下
にファイルを保存します。

この時、ファイル名の変更は行わないで下
さい。



! CA・クライアント証明書/秘密鍵が必要な場合は、クライアント証明書/秘密鍵をBASE64でエンコードし「ca.pem / client.pem / private.key」という名称に変更してPCからSaveris 2(もしくはtesto 160)を取り外す前にストレージ内にコピーしてください。※他の名称の場合は読み込まれません。

1. ファイルの保存(必要な場合、クライアントの証明書のコピー)が完了したことを確認し、ロガー本体PC(windows)を切断します。

2. 切断後、設定ファイルがロガーに読み込まれ、その情報を基に通信試行が始まります。

その場の環境に設定したWiFiアクセスポイントが無い場合は、その環境へ行き、 ボタンを一回短く押します。

設定ファイルに誤りがなければ、通信が成功し雲のマークが画面に表示されます。

